

北海道学び推進月間の取組

石狩教育局
平成30年12月7日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

「北海道教育の日」（11月1日）から始まった「北海道秋の学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 北広島市立西部中学校の取組

職業人との対話を通して自己の生き方を考えるキャリア教育

本校では、地域の生涯学習振興会のサポートの下、第3学年の生徒が職業人と対話する学習に取り組んでいます。生徒は、医師や客室乗務員など16の職種から自分の関心のある3つの職業を選び、仕事のやりがいや職業を選択したきっかけなどについて質問をしました。職業人の勤務観や考え方を学び、自己の将来や生き方について考える機会となりました。



【職業人との対話の様子】

○ 北海道札幌英藍高等学校の取組

「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業」に係る研究成果発表会の開催

本校では、生徒が身に付けるべき資質・能力（「英藍学カスタム」）を明確にし、授業改善や生徒の学習改善に取り組んでいます。11月14日に実施された研究成果発表会では、校外から58名の先生が参加し、全体説明や基調講演、公開授業、研究協議等を行いました。参加者からは、「参考になる点や刺激を受けることが多く、学びの多い発表会であった」などの声が寄せられるなど、研究成果の普及・還元に大きな成果がみられました。



【公開授業の様子】

○ 北海道札幌高等養護学校の取組

学校・家庭・地域の連携による生徒の社会参加に向けた取組

本校では、PTAとの協力の下、学校・家庭・地域が連携を図った取組を行っています。今年度は、職業学科の生徒が保護者に実習や作業の内容を説明する取組を通して、働くことの意義やよさを実感し学びの意欲が高まるようにしました。また、地域在住の外部講師による「親子で学ぶ性の学習会」を通して、正しい性の知識や命の尊さについて理解を促しました。これらの取組により、生徒の社会参加に必要な力を育むことができました。



【学習会の様子】

「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 石狩市立樽川中学校1年 勝 藤 志 歩 さん
「教え合い 広がる知識 学びの輪」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 北広島市立西部小学校4年 北 野 暖 奈 さん
「一歩ずつ 学びの先に ある未来」

北海道野幌高等学校1年 五十嵐 菜 月 さん

「発見と 学びの世界は 無限大」

北海道野幌高等学校1年 村 市 恭 介 さん

「出来ずとも 努力は君を 裏切らない」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。